

4-⑤ 「あたたかい眼差しを」－虐待から子どもを守る－

■対象：全ての親と一般地域住民 ■時間：60分程度 ■手法：ビデオフォーラム

学習のねらい 児童虐待についての概略と通告の義務についての理解を深めるとともに、児童虐待予防に主体的にかかわろうとする意欲を高める。

準備するもの DVD「あたたかい眼差しを」(島根県立東部・西部社会教育研修センターで貸出可) 視聴覚機器 ワークシート 筆記用具 バインダー 時計(ストップウォッチ)
※ファシリテーターと主催者は事前にDVDを視聴しておく

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、DVDを視聴しながら、児童虐待の概略と通告の義務について知り、虐待から子どもたちを守るためにわれわれにできることを考えていきましょう。DVDを見る前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
7分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①パースデーチェーン(親学プログラムP100)</p>	・誕生日順に輪になった後、4～6人グループに分ける。	
43分	<p style="text-align: center;">《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>①DVDの内容を知る ②DVDを視聴する ③自己紹介に加えてメモに記入したことや感想を発表し合う ④ワーク1に考えを書く ⑤グループごとに話し合う ⑥グループで話し合ったことを代表者が発表する ⑦まとめ</p>	<p>・児童虐待の種類や予防のヒントなど、キーワードをメモするように伝える。</p> <p>・DVDを観て、気づいたことや感想を発表してもらおう。</p> <p>・近所で、児童虐待と疑われるケースが起こった時、自分だったらどうするか考えて書く。</p>	<p>DVD 視聴覚機器</p> <p>ワークシート バインダー</p>
8分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①身近なところで子どもを守るためにできることをワーク2に書く ②全体で発表し合う</p>	・児童虐待から子どもたちを守るために自分にできることを書く。キーワードだけでもよい。	
2分	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか？ 私は今日のDVDを見て、改めて児童虐待は子どもの命に関わる重大な問題だと思いました。虐待が疑われるようなケースに遭遇した時には、勇気をもって通告することが大事だとも思いました。</p> <p>また、子どもや家庭は社会全体で見守っていくべきものであり、近隣住民同士の声掛けという小さな試みが、地域のつながりを育み、虐待を減らしていく有効な取り組みの1つであることに気づかされました。</p> <p>虐待から子どもを守るために私たちにできることを今日のように話し合う機会があるといいですね。</p> <p style="text-align: center;">《講座の最後にルールとマナーを確認しましょう》</p>		

4-⑤ 『あたたかい眼差しを』 - 虐待から子どもを守る -

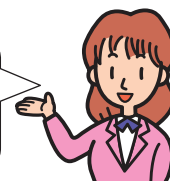
① DVDの内容を知る（1分）



今日ご覧いただくDVDは、今、大きな社会問題となっている児童虐待について専門家が概要を話し、虐待をなくすためにはどんなことが大切なのかを訴えかける内容になっています。ご覧いただくみなさんは、児童虐待の問題についての理解を深め、予防のためのヒントをつかんでいただければと思っています。

② DVDを視聴する（22分）

（ワークシートを配付して）
約20分間のDVDです。ワークシートにキーワードや気づいたことをメモしながらご覧ください。後ほど感想を発表し合います。



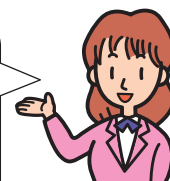
③ 自己紹介に加えてメモに記入したことや感想を発表し合う（6分）



ご覧いただいたDVDはいかがでしたか？今からグループの中で、順番にお名前と、DVDを観て気づいたことや感想を一言添えて、自己紹介をしてください。1人1分をお願いします。

④ ワーク1に考えを書く（3分）

次に、実際にあなたの近所で児童虐待と感じる出来事があったと想定して考えてみましょう。そのとき、あなたはどうしますか。「しなければいけないこと」は先ほどのDVDでわかったと思います。でも、本当にそうできますか。自分ならどうするか考えて、ワーク1に書いてみましょう。また、なぜそうするのか理由も書いてください。3分をお願いします。



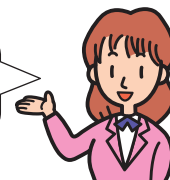
⑤ グループごとに話し合う（5分）



では、グループの他の方の考えを聞いてみましょう。1人1分程度で話してください。話し合いが終わったところでグループの代表に様子を発表していただきます。グループ代表も決めておいてください。時間は5分です。

⑥ グループで話し合ったことを代表者が発表する（5分）

時間になりました。話し合いを終了してください。それではグループ代表に発表していただきます。（ファシリテーターがいくつかのグループを指名する）



⑦ まとめ（1分）



いかがでしたか。まとめに今日の研修をふり返って、身近なところで児童虐待から子どもを守るためにできることをワーク2に書いてみましょう。

4-⑤「『あたたかい眼差しを』 -虐待から子どもを守る-」 ワークシート

「あたたかい眼差しを」 -虐待から子どもを守る-

☆ DVDを視聴して、気づいたことや感じたこと、キーワードを記入しましょう。

■DVD視聴メモ



ワーク1 近所で、児童虐待と感じる出来事があったら、あなたはどのようにしますか。
(その理由も書いて下さい。)

■理由



ワーク2 身近なところで児童虐待から子どもたちを守るためにできることを考えて書きましょう。



「あたたかい眼差しを」 -虐待から子どもを守る-

■ プロローグ

今、大きな社会問題となっている児童虐待。専門家は「その背景には、人々が見過ごさずに対処しようとするようになったこと、生活のしづらさや暮しづらさの中での増加、この2つのことが言えます。」と、語る。

■ 児童虐待の種類

児童虐待は、「身体的虐待」「性的虐待」「心理的虐待」「ネグレクト」の大きな4つに分けられている。

■ 再現ドラマ

山田章二・和江（仮名）夫婦は、隣家の物音から、児童虐待が行われている可能性を疑うが、間違いであることを恐れて通告できないでいた。

児童相談所に通告する和江。通告を受け付けている市区町村の児童福祉関係の窓口や児童相談所などの担当職員は、病院や保健センター、学校、行政機関などから情報を収集し、それを踏まえ家庭訪問を行う。

虐待の可能性のある村上（仮名）家へ訪問する相談所職員。ところが、父親・亮平（仮名）から、「帰れ」と反発を受けてしまう。

児童相談所では医師からの通告を受け、子どもの安全を守るためには一時保護が必要と判断した。

[子どもは社会全体で見守っていくべきものであり、それには幅広いさまざまな支援のための環境整備も欠かせない。全国里親の会についても紹介。]

近隣住民同士の声掛けという小さな試みから、地域のつながりを育み、社会全体で家庭を見守ることが、虐待を減らしていく有効な取り組みであることを訴える。

「あたたかい眼差しを」 -虐待から子どもを守る- 2012 株式会社 映学社